

作成日 2023/01/23
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	工業用強力万能接着剤「マルチ君」
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
整理番号	M230123
使用上の制限	用途以外での使用は避けること

2. 危険有害性の要約
化学品のGHS分類

物理化学的危険性	引火性液体 区分2
健康有害性	急性毒性(吸入:蒸気) 区分4 皮膚腐食性/刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A 呼吸器感作性 区分1A 皮膚感作性 区分1A 発がん性 区分1B 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(血管系 腎臓) 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻酔作用 気道刺激性)
環境有害性	特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(神経系) 水生環境有害性 短期(急性) 区分1 水生環境有害性 長期(慢性) 区分2 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示

注意喚起語
危険有害性情報

危険

H225 引火性の高い液体及び蒸気

H315 皮膚刺激

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H319 強い眼刺激

H332 吸入すると有害

H334 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ

H335 呼吸器への刺激のおそれ

H336 眠気又はめまいのおそれ

H350 発がんのおそれ

H371 血管系、腎臓の障害のおそれ

H372 長期にわたる、又は反復ばく露による神経系の障害

H400 水生生物に非常に強い毒性

H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き
安全対策

使用前に取扱説明書入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)

	<p>熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)</p> <p>容器を密閉しておくこと。(P233)</p> <p>容器を接地しアースをとること。(P240)</p> <p>防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。(P241)</p> <p>火花を発生させない工具を使用すること。(P242)</p> <p>静電気放電に対する措置を講ずること。(P243)</p> <p>粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)</p> <p>取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)</p> <p>取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)</p> <p>この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)</p> <p>屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。(P271)</p> <p>汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)</p>
応急措置	<p>環境への放出を避けること。(P273)</p> <p>保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)</p> <p>呼吸用保護具を着用すること。(P284)</p> <p>皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)</p> <p>皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)</p> <p>吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)</p> <p>眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)</p> <p>ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)</p> <p>気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)</p> <p>皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。(P333+P313)</p> <p>眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313)</p> <p>呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。(P342+P311)</p> <p>汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)</p> <p>火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。(P370+P378)</p> <p>漏出物を回収すること。(P391)</p>
保管	<p>換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)</p> <p>換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)</p>
廃棄	<p>施錠して保管すること。(P405)</p> <p>内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)</p>

3. 組成及び成分情報 化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
酢酸エチル	25.0～35.0%	CH ₃ COOC 2H ₅	(2)-726	既存	141-78-6
メチルエチルケトン	20.0～30.0%	CH ₃ CH ₂ C OCH ₃	(2)-542	既存	78-93-3
シクロヘキサン	20.0～30.0%	C ₆ H ₁₂	(3)-2233	既存	110-82-7
4-tert-ブチルフェノール	0.1～<1.0%	C ₁₀ H ₁₄ O	(3)-503	既存	98-54-4
酸化亜鉛	0.1～<1.0%	ZnO	(1)-561	既存	1314-13-2
ロジン	0.1～<1.0%	不明	不明	不明	8050-09-7
酸化マグネシウム	1.0～5.0%	MgO	(1)-465	既存	1309-48-4
n-ヘキサン	0.1～<1.0%	CH ₃ (CH ₂) CH ₃	(2)-6	既存	110-54-3
メチルイソブチルケトン	0.1～<1.0%	CH ₃ CH(CH 3)CH ₂ COCH ₃	(2)-542	既存	108-10-1
その他	15.0>%	不明	不明	不明	不明

4. 応急措置

応急措置の記述	一般的な措置	
吸入した場合		気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。 呼吸が困難な場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合		直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。 多量の水と石鹸で優しく洗う。 皮膚刺激又は発しんが生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合		水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合		口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護		救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。 適切な換気を確保する。

5. 火災時の措置

消火剤	適切な消火剤	
使ってはならない消火剤 特有の危険有害性		火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。 噴流水を消火に用いてはならない。 燃焼の際に有毒な炭素酸化物を生成する。 加熱すると容器が爆発するおそれがある。 火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
消火を行う者への勧告	特有の消火方法	関係者以外は安全な場所に退去させる。 霧状水により容器を冷却する。
	消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	防火服又は防災服を着用すること。

6. 漏出時の措置 人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	関係者以外は近づけない。 回収が終わるまで十分な換気を行う。 適切な保護具を着用する。 着火源を取り除くとともに換気を行う。 触れたり眼に入らないように、不浸透性手袋などの保護具を着用する。
環境に対する注意事項	漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
封じ込め及び浄化の方法 及び機材	不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。 多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。
二次災害の防止策	漏出物を回収すること。 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。 排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い	<p>技術的対策</p> <p>(取扱者のばく露防止) ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 (火災・爆発の防止) 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 容器を接地しアースをとること。 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する措置を講ずること。</p> <p>(注意事項) 皮膚に触れないようにする。 眼に入らないようにする。</p> <p>安全取扱注意事項</p> <p>屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。</p> <p>接触回避</p> <p>酸化性物質との接触を避けること。</p> <p>衛生対策</p> <p>眼、皮膚、衣類につけないこと。 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 取扱後はよく手を洗う。</p>
保管	<p>安全な保管条件</p> <p>換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。 施錠して保管すること。 直射日光を避け容器を密閉し5から35℃で保管する。</p> <p>避けるべき保管条件</p> <p>高温、着火源(裸火、火花等)を避けること。</p> <p>安全な容器包装材料</p> <p>他の容器に移し替えないこと。</p>
8. ばく露防止及び保護措置	

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
酢酸エチル	200ppm	200ppm(720mg/m ³)	TWA 400 ppm, STEL -
n-ヘキサン	40ppm	40ppm(140mg/m ³)(皮)	TWA 50 ppm, STEL - (Skin)
メチルイソブチルケトン	20ppm	50ppm(200mg/m ³)	TWA 20 ppm, STEL 75 ppm
メチルエチルケトン	200ppm	200ppm(590mg/m ³)	TWA 200 ppm, STEL 300 ppm
シクロヘキサン	未設定	150ppm(520mg/m ³)	TWA 100 ppm, STEL -
酸化亜鉛	未設定	0.5mg/m ³ ;【粉塵許容濃度】(第2種粉塵) 吸入性粉塵1mg/m ³ 総粉塵4mg/m ³	TWA 2 mg/m ³ (R), STEL 10 mg/m ³ (R)
ロジン	未設定	未設定	TWA - (L), STEL -; TWA 0.001 mg/m ³ (I), STEL -
4-tert-ブチルフェノール	未設定	未設定	未設定
酸化マグネシウム	未設定	未設定	TWA 10 mg/m ³ (I), STEL -

特記事項	(n-ヘキサン) (ロジン)	皮膚吸収 皮膚感受性, 呼吸器感受性
設備対策		適切な換気のある場所で取扱う。 手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。 保護手袋を着用する 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。 保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態		液体
形状		液体
色		淡黄色
臭い		溶剤臭
融点/凝固点		データなし
沸点又は初留点及び沸点		77°C(酢酸エチル)
燃焼性		可燃性あり
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	下限	データなし 参考値=1.3vol% (シクロヘキサン)
	上限	データなし 参考値=12.8vol% (酢酸エチル)
引火点		-20°C以上(タグ密閉式)
自然発火点		データなし 参考値=260°C (シクロヘキサン)
分解温度		データなし
pH		データなし
動粘性率		データなし
溶解度		データなし
n-オクタノール/水分配係数		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び/又は相対密度		0.9g/cm ³

相対ガス密度
粒子特性

データなし
非該当

10. 安定性及び反応性
反応性

化学的安定性
危険有害反応可能性

本製品は通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。

避けるべき条件
混触危険物質
危険有害な分解生成物

高温、着火源(裸火、火花等)を避けること。

酸化性物質

危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性

経口

急性毒性推定値が7909.8083431mg/kgのため区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

経皮

急性毒性推定値が7441.186192mg/kgのため区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

吸入

(気体)

GHS定義による気体ではない。

(蒸気)

急性毒性推定値が11128.1329346ppmのため区分4とした。

(粉じん・ミスト)

急性毒性推定値が5.6495575mg/lのため区分5とした。

JIS Z 7252に採用されていないため区分5から区分に該当しないに変更。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

区分2の成分合計が51.03%のため、区分2とした。

眼区分2Aの成分合計が24.05%のため、区分2Aとした。

区分1Aの成分が0.99%のため、区分1Aとした。

区分1Aの成分が0.99%のため、区分1Aとした。

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

区分1Bの成分が0.99%のため、区分1Bとした。

(生殖毒性)

危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

※区分2は0.99%含まれる。

※区分2は0.99%含まれる。

※区分2は0.99%含まれる。

※区分2は0.99%含まれる。

(生殖毒性・授乳影響)

データ不足のため分類できない。

区分2(腎臓)の成分が24.05%のため、区分2(腎臓)とした。

区分2(血管系)の成分が25%のため、区分2(血管系)とした。

皮膚腐食性/皮膚刺激性
眼に対する重篤な損傷性
/眼刺激性
呼吸器感作性
皮膚感作性
生殖細胞変異原性

発がん性
生殖毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)
誤えん有害性

区分3(麻酔作用)の成分合計が80.03%のため、区分3(麻酔作用)とした。
区分3(気道刺激性)の成分合計が85.01%のため、区分3(気道刺激性)とした。
区分1(神経系)の成分が24.05%のため、区分1(神経系)とした。
動粘性率が不明のため、分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)
水生環境有害性 長期(慢性)
生態毒性
残留性・分解性
生体蓄積性
土壌中の移動性
オゾン層への有害性

区分1×毒性乗率の成分合計が34.9%のため、区分1とした。
(毒性乗率×10×区分1)+区分2の成分合計が100.98%のため、区分2とした。
データなし
データなし
データなし
データなし
データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律の分類では、特別管理産業廃棄物の廃油と廃プラスチック類の混合物で、その処理については認可を受けた専門の処理業者に委託する。
使い切った後の容器は、接着剤が乾燥固化していれば、産業廃棄物の金属くずと廃プラスチック類の混合物になる。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号	1133
正式輸送名	接着剤、引火性液体含有
分類または区分	3
容器等級	II
指針番号	128
国連番号	1133

IMDG Code
(国際海上危険物規程)

正式輸送名	接着剤、引火性液体含有
分類または区分	3
容器等級	II

IATA 航空危険物規則書

国連番号	1133
正式輸送名	接着剤、引火性液体含有
分類または区分	3
危険性ラベル	Flamm.liquid
容器等級	II
特別規定番号	A3

環境有害性

MARPOL 条約附属書Ⅲ-個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質(該当/非該当)

非該当(本製品は、ばら積み輸送用ではありません)

特別の安全対策

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように取扱い、荷崩れの防止を確実に行う。

		消防法、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。
国内規制がある場合の 規制情報	船舶安全法	引火性液体類 分類3
	航空法	引火性液体 分類3

15. 適用法令

労働安全衛生法

第2種有機溶剤等(施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号)
作業環境評価基準(法第65条の2第1項)
名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

シクロヘキサン(政令番号:232)(20%-30%)
ヘキサン(政令番号:520)(5%未満)
メチルイソブチルケトン(政令番号:569)(5%未満)

メチルエチルケトン(政令番号:570)(20%-30%)
ロジン(政令番号:632)(5%未満)
酢酸エチル(政令番号:177)(20%-30%)
酸化亜鉛(政令番号:188)(5%未満)

特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者(法第66条第2項、施行令第22条第1項)

非該当

第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)

毒物及び劇物取締法
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)(令和5年4月1日以降)

シクロヘキサン(管理番号:629)(25%)

優先評価化学物質(法第2条第5項)

第4類 引火性液体 第一石油類(非水溶性)

指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)

特定悪臭物質(施行令第1条)

有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質(中央環境審議会第9次答申)

揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)

揮発性有機化合物(法第2条第4項)(平成14年度VOC排出に関する調査報告)

化審法
消防法
水質汚濁防止法
悪臭防止法
大気汚染防止法

海洋汚染防止法

個品運送P(施行規則第30条の2の3、国土交通省告示)

危険物(施行令別表第1の4)

有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)

有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)

輸出貿易管理令別表第1の16の項

引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第1)

引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)

外国為替及び外国貿易法
船舶安全法
航空法

港則法

その他の危険物・引火性液体類(法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)

道路法

車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)

特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)

特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号)

水道法	有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)
下水道法	水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)
労働基準法	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1) 感作性を有するもの(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号、平8労基局長通達、基発第182号)

16. その他の情報
参考文献

参考文献	製造元メーカー提供資料 NITE GHS分類結果一覧 JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) 経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス 日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム「ezSDS」により作成。
その他	危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、 取扱いには十分注意して下さい。 JAIA 4VOC基準適合:室内空気汚染対策のためのVOC自主管理規定 JAIA-505009